

第23回高校生ものづくりコンテスト全国大会 予算執行方針（抜粋）

[前略]

1 旅費

(1) 出場選手旅費

ア 交通費

出場校の最寄り駅から、競技会場の最寄り駅までの実費交通費の片道分を補助するものとし、往路と復路の運賃が異なる場合はいずれか安価な方を補助する。

引率教員の車に同乗する場合は、支給しない。また、航空機・J Rを使用する場合は、できるだけ旅行各社等の「パック旅行」の利用を推奨し、早割・学割等を活用するよう連絡する。

イ 宿泊料

競技運営の必要により宿泊した場合は、泊数に関係なく 4,000 円を限度として宿泊費の実費を補助する。

※ 出場校は、航空券購入明細、パック旅行パンフレット、宿泊領収書等の写し、及び選手旅費請求書を、大会事務局に提出する。

[中略]

(4) 上記以外の大会運営協力生徒、教職員等の学校関係者に対しての旅費は支給しない。

(5) 出場選手の付添者（教職員、その他）には旅費の補助は行わない。

[後略]

第23回高校生ものづくりコンテスト全国大会選手旅費支給基準

各地区代表選手が本大会に参加する場合における「選手旅費請求」は、次の基準にしたがって行うこととする。

なお、次の基準を満たさなくても旅費が安価となる場合は、事前に大会事務局へ相談のうえ、その交通手段で請求してもよいものとする（タクシー、ハイヤーの利用は不可）。

記

- (1) 交通手段は時間や料金等を考慮して、できるだけ安価な方法を選択すること。
- (2) 航空機を利用する場合はウルトラ先得や先特割引等を、J Rを利用する場合はスーパー早得や学割等、割引運賃を必ず利用すること。
- (3) 旅行各社等の「パック旅行」の方が安い場合は、パック旅行を利用すること。

(航空機、JR 共)

[パック旅行の旅費請求金額計算式]

(パック料金－10,000 円×泊数) ÷ 2

- (4) 航空機の乗り継ぎがある場合、乗り継ぎ空港については安価な場所を選択すること。
- (5) 引率教員が公用車又は私用車を利用して引率業務を行う場合は、選手への旅費補助を行わない。
ただし、宿泊については泊数に関係なく 4,000 円を申請すれば補助を行う。
- (6) 必ず所属校の校長、教頭、事務長等と相談して旅程を決定すること